

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

白

い

ま

ど

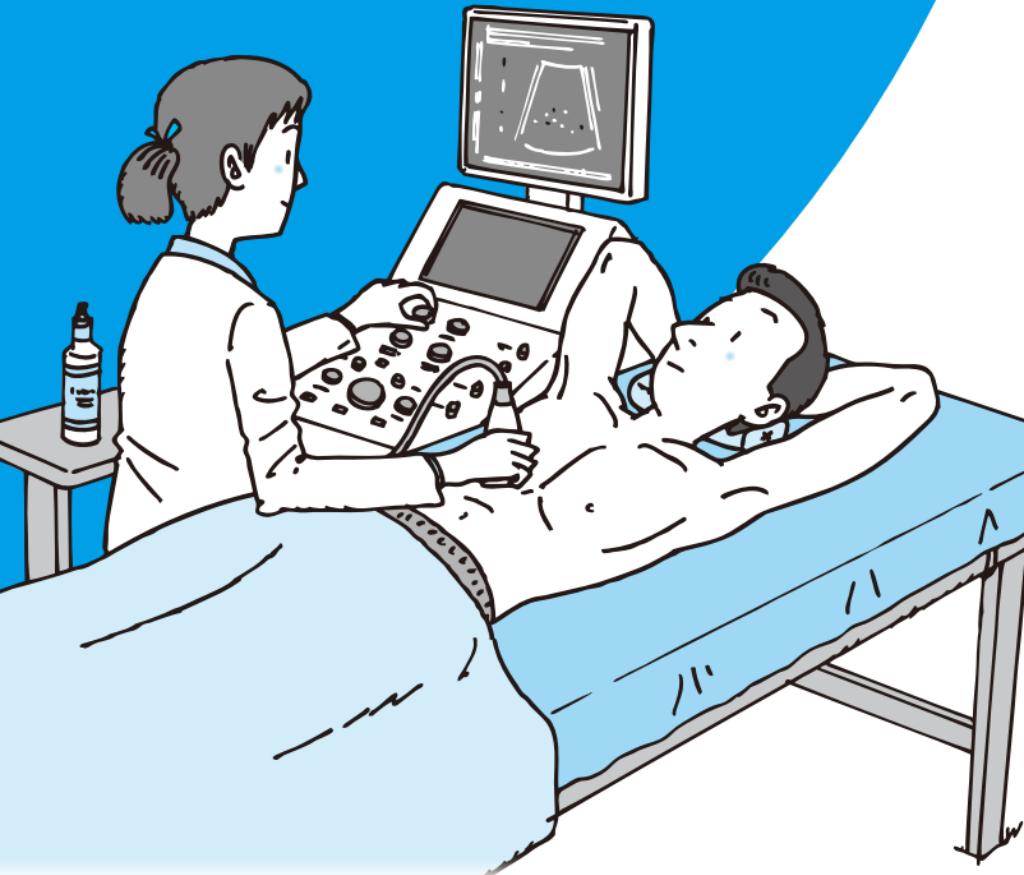
MARCH
2016年
3月1日発行
No.429

3

病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ

特集 がんに克つ! ④ 肝がん P-1

- ・インフォメーション P-4
- ・診療科・センター紹介 病理診断科 P-5
- ・診療を支えるスペシャリスト 細胞検査士 P-6



社会福祉法人聖隸福祉事業団
総合 聖隸浜松病院



聖隸浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診時選定療養費として**3,240円**を別途ご負担いただいています。

当院は、地域医療支援病院として急性期医療を担い、「かかりつけ医(診療所等)」と役割を分担する病診連携を推進しています。皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

また予約時には、症状や診療科の確認等が必要となることがあります。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00／祝祭日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがありますのでお控えください。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜13:00～16:45)

面会の方へ

面会時間…(月～土曜)14:00～20:00、(日曜・祝日)10:00～20:00

- 小児科病棟の面会者はC棟1階で手続きをお願いいたします。
- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱／咳・痰／原因不明の発疹／嘔吐・下痢



社会福祉法人聖隸福祉事業団

総合病院 聖隸浜松病院

ジョイント・コミッショナ・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 病院長 鳥居 裕一

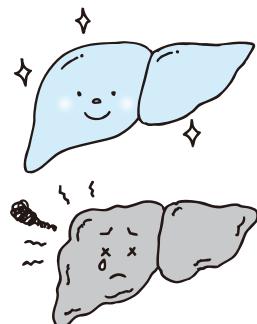
がんに克つ!
4

肝がん

日本人の2人に1人が、一生のうち一度はなるといわれている『がん』。シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

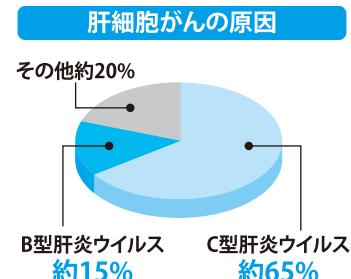
どうして肝がんになるの?

『肝癌』には肝臓自体から発生する『原発性肝癌』と胃がんや膵臓がんなど他のがんから転移する『転移性肝癌』があります。『原発性肝癌』のほとんどは肝細胞由来の『肝細胞癌』です。



肝細胞がん(以下肝がん)の死亡数は年間約3万人(男性約2万人、女性約1万人)で、臓器別死亡数は男性が4位、女性は6位です。正常の肝臓から肝がんができることはまれで、多くは慢性肝炎、肝硬変といった慢性肝疾患がもとで発生します。そのうち65%がC型肝炎、15%がB型肝炎の感染によるものですが、最近のウイルス性肝炎治療の進歩により肝がんは徐々に減

少しています。一方でアルコール性肝硬変や脂肪性肝炎(NASH)からの発がんが増えています。発がんリスクとして年齢、男性、アルコール、喫煙、肥満、糖尿病の併発などがあります。



肝がんにならないためには? 早期発見するためには?

自覚症状は初期ではほとんどありません。肝臓が『沈黙の臓器』といわれる由縁でもあります。

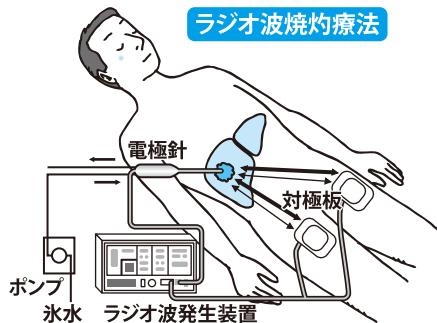
早期発見は血液検査と画像検査です。まずはB型、C型肝炎のウイルス検査を受けてください。一生に一度受けたければ通常の生活では新しく感染することはまれです。ウイルス性肝炎と診断されたら専門医にご相談ください。飲み過ぎ、肥満にも注意が必要です。以前は脂肪肝から肝がんになることはないといわれていましたが、最近は脂肪性肝炎から肝硬変、肝がんに進展することがわかつてきました。

画像検査には腹部エコー、CT、MRIなどがあります。エコーは簡便で被ばくの心配がなく人間ドックでも受けられますが、太った方では肝臓全体を観察しにくいので、腹部CTやMRIを併用することもあります。

どんな治療があるの？

肝がんの治療は、進行度と肝硬変などもともとある肝臓の障害程度によって、治療アルゴリズム（治療方針）が決まっています。進行度は、がんの大きさ、数、がんが血管まで広がっているかどうかによって決まります。

治療には、肝切除、ラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓術、放射線療法、抗がん剤治療があります。ラジオ波焼灼療法はエコーでがんをみながら直接針を刺し腫瘍を焼く治療です。体への負担が少ない治療であり、当院でも積極的に行ってています。



定期的に検査を受けよう！

肝がんはがんになりやすい人をあらかじめ見つけることができます。そのためには、ご自身の今の肝臓の状態を把握しておくことがとても大事です。定期的に肝機能検査と腹部画像検査を受けることをお勧めします。

文責：肝臓内科 部長 長澤 正通

次回、がんに克つ！⑤は「婦人科がん」です。
(2016年5月号に掲載予定)

インフォメーション

産後のお母さんを応援します！ 産後ケアチケット

2015年10月から、当院でご出産された方に、「母乳外来」と「ママとベビーの教室」をご利用いただけるチケット「産後ケアチケット」2枚をお渡ししています。



母乳外来

1回 3,240円相当

- ▶母乳育児における授乳や乳房トラブル
- ▶お子さんの体重測定
- ▶搾乳指導
- ▶育児相談

ママとベビーの教室

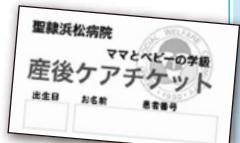
1回 580円相当

- ▶お子さんの体重測定
- ▶ベビーマッサージ
- ▶育児の悩み相談
(ママ同士で話したり
助産師がサポート
など)

ご利用方法

ご希望の日に利用可能です。
来院時に、産科受付でご提示ください。

※有効期限
お子さんの1歳の誕生日以前日まで



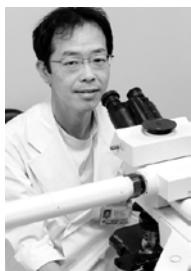
新任医師紹介



総合診療内科
きくち なおし
菊池 直
東邦大学
(2002年卒)



耳鼻咽喉科
きた じゅんや
喜多 淳哉
浜松医科大学
(2011年卒)



病理診断科

「正しい病理診断」で
適切な治療に貢献！

病理診断科?何をしているところ
だろうと思った方も多いのではない
でしょうか。

血液検査、CT、胃カメラといった検査で、体内のさまざま
な臓器に腫瘍や炎症などの病気がみつかることがあります。その病気について、顕微鏡を使って最終診断を行っているのが病理診断科です。

「正しい病理診断」がなければ「適切な治療」は行えません。当科では臨床検査技師とともに、胃や大腸、肺、乳腺などから採取された組織や細胞の診断を行っており、内科や外科などさまざまな医師に正確で迅速な病理診断を伝えることを信念として取り組んでいます。

私たちは皆さんの前に登場することはございませんが、
病院の中で適切な診療が行えるよう、日々努めています。
病理診断
という言葉を
耳にされた時
にこのコラム
を思い出して
いただけたら
幸いです。



文責：病理診断科 部長 大月 寛郎（写真 後列左端）



細胞検査士



がんを早期に発見します！

細胞検査士は人体の細胞を顕微鏡で観察し、がんやその他の疾患がないかをチェックしています。

主な検査材料としては、①体の外に出てくるようなもの(喀痰や尿)、②体の中にできたできものを針で刺して得られた吸引物(乳腺や甲状腺)、③体の中にたまつたもの(胸水や腹水)などが対象となります。

身近なところでは子宮がん検診があります。採取した子宮の細胞に、がん細胞がないかを観察し、がんの早期発見に貢献しています。

細胞診断をする中で、診断精度を高めるために医師とディスカッションを欠かさず行い、患者さんの治療の役に立てるよう、正確な検査結果を主治医へ報告しています。

文責：臨床検査部 鈴木 愛梨、山田 純子、直田 健太郎